

シグマ委員会
4年度第3回運営委員会議事録(案)

日時： 1992年9月10日(木) 13:30~17:30

場所： 日本原子力研究所本部 第3会議室

出席者： 中嶋(法大、主査)、石井(原研、委員長)、北沢(東工大)、中村(東北大)、
瑞慶覧(日立)、吉田(東芝)、若林(動燃)、菊池(以上原研)

幹事： 中川、中島(原研)

オブザーバー： 松延(住友原工)、岡本(原産)、五十嵐(NEDAC)、馬場(東北大)、
岸田(CRC)、山野(住友原工)

配布資料

1. 平成4年度第2回運営委員会議事録(案)
2. 平成4年度シグマ特別専門委員会・シグマ研究委員会本委員会議事録(案)
3. シグマ研究委員会旅費使用状況
4. Data Bank Services from the New Location of the OECD Nuclear Energy Agency
5. 1992年核データ研究会プログラムおよび研究会準備状況
6. シグマ委員会30周年記念行事案
7. JENDL-3普及方策検討小委員会委員名簿

議 事

I. 議事録確認

1. 前回6月19日の議事録(配布資料1)を確認した。
2. 7月3日開催されたシグマ特別専門委員会・シグマ研究委員会本委員会議事録を確認した。

II. 報告事項

1. ロシアへの核データ測定委託について

菊池氏が来年度アクチナイド核データおよび物性データの取得をロシアに委託するための予算が科学技術庁の特別会計でついている事を報告した。主にITEPに核破砕データの取得を委託し、その他Obninskに臨界実験による核データの検証、Khlopin Radium Institute(Saint Petersburg)に核分裂スペクトル、核分裂断面積の測定を委託する。

2. 委員会旅費の使用状況について

配布資料2に基づいて中島氏が次のとおり報告した。8月末現在で約50%の使用率である。現在はワーキンググループの開催を制限する必要はない。

3. NEA Data Bank の移転について

菊池氏がNEA Data Bankが配布資料4のとおり移転した事を報告した。

4. 医学用原子分子・原子核データグループ会合について

菊池氏が次のとおり報告した。8月5日に会合を開き、ANLの井口氏に講演をしてもらった。メンバーを増やす必要があるので、数名の委員を追加発令する。各種の分野からのニーズを核データの言葉に翻訳して、データ収集をする予定である。

5. その他

・岡本氏が、今後は環境のための核データを考えていく必要があると述べた。

・菊池氏が「90年代の核データニーズについてのNEA NSCのワーキングパーティが92B NLの第1日目に開かれる。日本のレポートを持っていく必要があるので協力して欲しい。」と述べた。

Ⅲ. 審議事項

1. 1992年核データ研究会について

馬場氏が配布資料5により研究会の準備状況を次のとおり報告した。会場は原研東海研の大講堂を使用する。ワーキンググループの活動状況、成果、予定などのポスター発表を依頼した。時間の制約により、「不安定核ビーム実験」と「常温核融合」は割愛する事とした。プログラムを決定し、発表者・座長などの確認と調整を行った。なお韓国の関さんが招待を断ってきたので、馬場氏と事務局とで相談し、決定することとした。

2. シグマ委員会30周年記念行事について

中島氏が配布資料6を説明し、来年2月に記念講演会と祝賀会を開きその際招待者に記念品を進呈する事、組織委員会、実行委員会の委員を提案した。討論の結果、大筋で提案通り合意し、委員を次のとおり決定した。

組織委員

中嶋龍三（法政大）、瑞慶覧篤（日立）松延廣幸（住友原工）、村田徹（東芝）、
関雄次（三菱原子力）、神田幸則（九大）、五十嵐信一（NEDAC）、
石井三彦、菊池康之、黒岩克彦、中島豊（原研）

実行委員

浅見哲夫（データ工学）、山野直樹（住友原工）、井頭政之（東工大）、
沼田龍雄、長谷川明、深堀智生、中島豊（原研）

3. JENDL-3普及方策検討小委員会について

菊池氏が委員会のメンバーを配布資料7のとおり決定した事、本日午前中に第1回目の会合を開いた事を報告した。若い人はJENDLの使い方を知らないので講習会を開催するのは意義があるのではないかと提案があった。これに対して、講習会を開いても人が集まらないかも知れないので、アンケートなどで調査をする必要があるとの意見があった。またみんなに使ってもらうためにはJENDL-3の優れている点をPRする必要があるとの意見があった。これらの意見については検討小委員会で検討することとした。

Ⅳ. その他

次回は12月17日（木）とする。

宿題事項

担 当	宿 題 事 項	期 限
馬場、事務局 全員	1992年核データ研究会のプログラムの調整 1993年原子力学会春の年会での（核データ ・炉物理）合同会合テーマを考えてくる。	至急 次回